

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 約10年間(2011年9月22日~2021年9月7日)
運用方針	約8年3カ月間(2013年5月31日~2021年9月7日) 信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイウ・マネー・マザーファンドの受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイウ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイウ・マネー・マザーファンドの受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイウ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイウ・マネー・マザーファンドの受益証券
運用方法	日本円・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替ヘッジを行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)とダイウ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/日本円買いの為替ヘッジを行ないません。
	豪ドル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替ヘッジを行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)とダイウ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/豪ドル買いの為替ヘッジを行ないません。
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替ヘッジを行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)とダイウ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替ヘッジを行ないません。
組入制限	米ドル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)とダイウ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	通貨セレクト・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替ヘッジを行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)とダイウ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/選定通貨買いの為替ヘッジを行ないません。
分配方針	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。分配対象額は、繰上控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標とし、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。通貨セレクト・コースは、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)

—トリプルリターンズ—

日本円・コース (毎月分配型)
豪ドル・コース (毎月分配型)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)
米ドル・コース (毎月分配型)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

日本円・コース (毎月分配型)	第72期 (決算日 2017年10月10日)
豪ドル・コース (毎月分配型)	第73期 (決算日 2017年11月7日)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	第74期 (決算日 2017年12月7日)
米ドル・コース (毎月分配型)	第75期 (決算日 2018年1月9日)
	第76期 (決算日 2018年2月7日)
	第77期 (決算日 2018年3月7日)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)	第52期 (決算日 2017年10月10日)
	第53期 (決算日 2017年11月7日)
	第54期 (決算日 2017年12月7日)
	第55期 (決算日 2018年1月9日)
	第56期 (決算日 2018年2月7日)
	第57期 (決算日 2018年3月7日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) —トリプルリターンズ—」は、さる3月7日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 <3834>
お問い合わせ先 (コールセンター) <3835>
TEL 0120-106212 <3836>
(営業日の9:00~17:00) <3837>
<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5763>

日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
48期末(2015年10月7日)	8,306	90	3.1	16,969	3.1	0.0	98.8	1,925
49期末(2015年11月9日)	8,525	90	3.7	17,992	6.0	0.0	98.8	1,948
50期末(2015年12月7日)	8,429	90	△ 0.1	17,927	△ 0.4	0.0	98.9	1,976
51期末(2016年1月7日)	7,941	90	△ 4.7	17,058	△ 4.8	0.0	98.7	1,937
52期末(2016年2月8日)	7,472	90	△ 4.8	16,113	△ 5.5	0.0	99.2	1,745
53期末(2016年3月7日)	7,844	90	6.2	17,141	6.4	0.0	99.0	1,849
54期末(2016年4月7日)	7,982	90	2.9	17,713	3.3	—	98.9	1,834
55期末(2016年5月9日)	7,729	90	△ 2.0	17,631	△ 0.5	0.0	98.3	1,750
56期末(2016年6月7日)	7,925	90	3.7	18,079	2.5	0.0	98.4	1,721
57期末(2016年7月7日)	7,672	90	△ 2.1	17,996	△ 0.5	0.0	99.4	1,609
58期末(2016年8月8日)	8,004	90	5.5	18,709	4.0	0.0	98.9	1,609
59期末(2016年9月7日)	7,900	90	△ 0.2	18,740	0.2	0.0	99.2	1,502
60期末(2016年10月7日)	7,740	90	△ 0.9	18,519	△ 1.2	0.0	99.4	1,404
61期末(2016年11月7日)	7,345	90	△ 3.9	17,872	△ 3.5	0.0	95.5	1,278
62期末(2016年12月7日)	7,688	90	5.9	18,960	6.1	0.0	97.8	1,232
63期末(2017年1月10日)	7,776	90	2.3	19,446	2.6	0.0	98.5	1,200
64期末(2017年2月7日)	7,724	90	0.5	19,649	1.0	0.0	98.9	1,199
65期末(2017年3月7日)	7,892	90	3.3	20,358	3.6	0.0	95.7	1,187
66期末(2017年4月7日)	7,680	90	△ 1.5	20,205	△ 0.8	0.0	98.3	1,068
67期末(2017年5月8日)	7,649	90	0.8	20,564	1.8	0.0	98.2	1,025
68期末(2017年6月7日)	7,565	90	0.1	20,821	1.3	0.0	96.2	988
69期末(2017年7月7日)	7,543	90	0.9	20,653	△ 0.8	0.0	98.4	955
70期末(2017年8月7日)	7,545	90	1.2	21,228	2.8	0.0	98.9	935
71期末(2017年9月7日)	7,481	90	0.3	21,132	△ 0.5	—	98.3	898
72期末(2017年10月10日)	7,613	90	3.0	21,810	3.2	—	98.8	845
73期末(2017年11月7日)	7,406	90	△ 1.5	22,208	1.8	—	94.6	837
74期末(2017年12月7日)	7,282	90	△ 0.5	22,535	1.5	0.0	98.6	810
75期末(2018年1月9日)	7,568	90	5.2	23,550	4.5	—	98.6	846
76期末(2018年2月7日)	7,224	60	△ 3.8	23,099	△ 1.9	—	98.5	796
77期末(2018年3月7日)	7,309	60	2.0	23,382	1.2	—	98.3	784

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

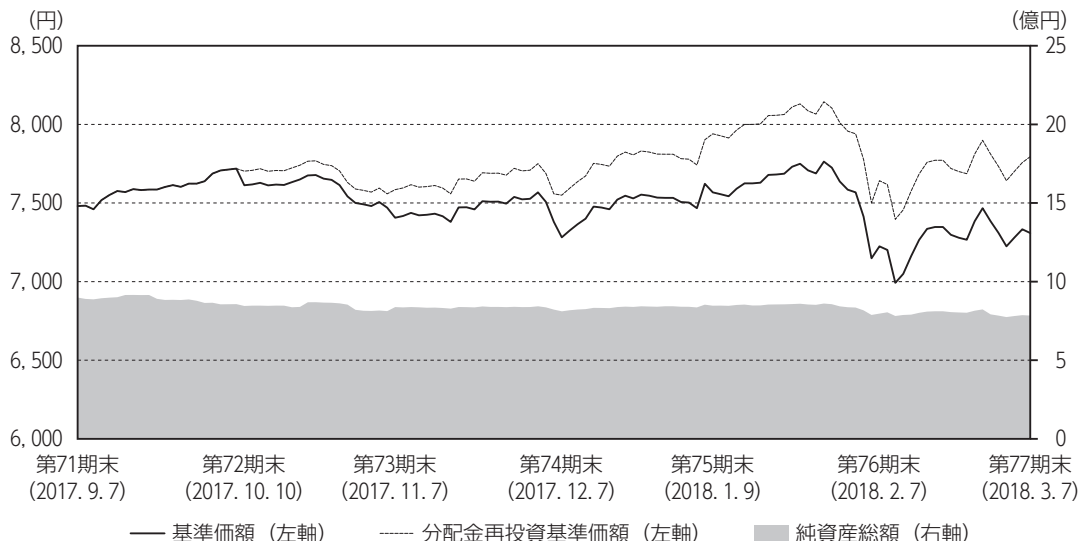
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第72期首：7,481円

第77期末：7,309円 (既払分配金480円)

騰落率：4.2% (分配金再投資ベース)

基準価額の変動要因

主にオージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) (以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」といいます。) に投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことが寄与し、上昇しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第72期	(期首) 2017年 9月 7日	7,481	—	21,132	—	—	98.3
	9月末	7,623	1.9	21,513	1.8	—	96.9
	(期末) 2017年10月10日	7,703	3.0	21,810	3.2	—	98.8
第73期	(期首) 2017年10月10日	7,613	—	21,810	—	—	98.8
	10月末	7,492	△ 1.6	22,051	1.1	—	98.4
	(期末) 2017年11月 7日	7,496	△ 1.5	22,208	1.8	—	94.6
第74期	(期首) 2017年11月 7日	7,406	—	22,208	—	—	94.6
	11月末	7,523	1.6	22,507	1.3	—	99.2
	(期末) 2017年12月 7日	7,372	△ 0.5	22,535	1.5	0.0	98.6
第75期	(期首) 2017年12月 7日	7,282	—	22,535	—	0.0	98.6
	12月末	7,503	3.0	23,034	2.2	—	98.2
	(期末) 2018年 1月 9日	7,658	5.2	23,550	4.5	—	98.6
第76期	(期首) 2018年 1月 9日	7,568	—	23,550	—	—	98.6
	1月末	7,637	0.9	24,190	2.7	—	98.9
	(期末) 2018年 2月 7日	7,284	△ 3.8	23,099	△ 1.9	—	98.5
第77期	(期首) 2018年 2月 7日	7,224	—	23,099	—	—	98.5
	2月末	7,384	2.2	23,521	1.8	0.0	98.8
	(期末) 2018年 3月 7日	7,369	2.0	23,382	1.2	—	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.9.8～2018.3.7)

■米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。第72期首から2018年1月にかけて、原油価格の上昇、税制改革への期待の高まりや好調な企業決算を背景に、上昇相場が続く展開となりました。しかし2月に入ってからは、米国金利の急激な上昇を受けて株式市場への資金流入に悪影響が及ぶとの懸念から、株価は急落しました。その後、株価は反発に転じ、戻り歩調となりましたが、長期金利の動向が意識され、やや不安定な推移となりました。

■短期金利市況

日本では、日銀が2016年9月の金融政策決定会合で導入した「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持するなど、短期金利は低位で推移しました。

一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを1.00～1.25%から1.25～1.50%に引き上げました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

（2017. 9. 8 ～ 2018. 3. 7）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

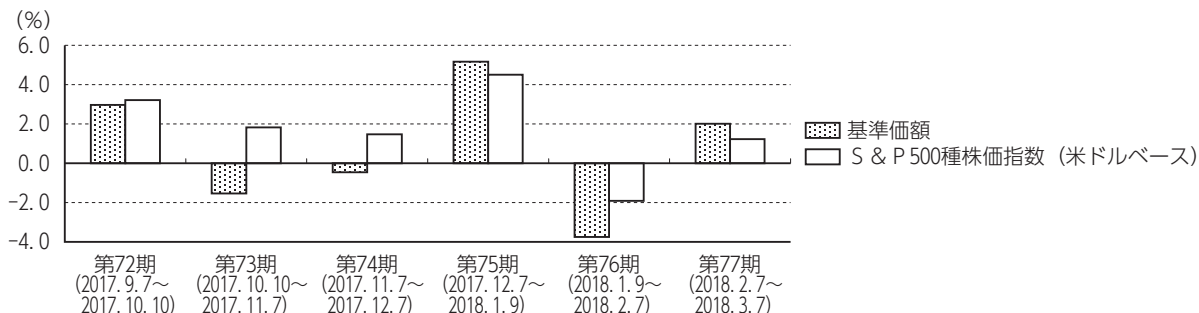
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先およびコール・ローンによる運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

1万口当り分配金 (税込み) は、第72期～第75期はそれぞれ90円、第76期～第77期はそれぞれ60円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程 (1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当り)

項目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2017年9月8日 ～2017年10月10日	2017年10月11日 ～2017年11月7日	2017年11月8日 ～2017年12月7日	2017年12月8日 ～2018年1月9日	2018年1月10日 ～2018年2月7日	2018年2月8日 ～2018年3月7日
当期分配金 (税込み) (円)	90	90	90	90	60	60
対基準価額比率 (%)	1.17	1.20	1.22	1.18	0.82	0.81
当期の収益 (円)	51	41	46	51	42	50
当期の収益以外 (円)	38	48	43	38	17	9
翌期繰越分配対象額 (円)	565	518	475	437	419	409

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 経費控除後の配当等収益	51.27円	41.29円	46.63円	51.49円	42.01円	50.47円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	604.43	567.39	518.71	475.64	437.17	419.22
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	655.71	608.69	565.34	527.13	479.18	469.70
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00	90.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	565.71	518.69	475.34	437.13	419.18	409.70

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

1万口当りの費用の明細

項 目	第72期～第77期 (2017.9.8～2018.3.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	49円	0.655%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,503円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	49	0.658	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

決算期	第 72 期 ~ 第 77 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 891.139	千円 80,646	千口 2,192.519	千円 198,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

銘柄	第 72 期 ~			第 77 期		
	買 付			売 付		
	□ 数	金 額	平均単価	□ 数	金 額	平均単価
CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 497.91	千円 45,000	円 90	千口 2,192.519	千円 198,000	円 90

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間(第72期~第77期)中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 77 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	千口 8,601.379	千円 771,044	% 98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第71期末	第 77 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 132	千口 132	千円 135

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年3月7日現在

項 目	第 77 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 771,044	% 97.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	135	0.0
コール・ローン等、その他	20,236	2.6
投資信託財産総額	791,416	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年10月10日)、(2017年11月7日)、(2017年12月7日)、(2018年1月9日)、(2018年2月7日)、(2018年3月7日)現在

項目	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末
(A) 資産	856,095,465円	848,969,031円	822,163,111円	858,416,479円	805,244,565円	791,416,914円
コール・ローン等	20,910,462	56,228,426	22,350,757	23,672,182	20,802,331	20,236,792
投資信託受益証券 (評価額)	835,049,737	792,605,339	799,677,102	834,609,045	784,306,995	771,044,883
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	135,266	135,266	135,252	135,252	135,239	135,239
(B) 負債	11,093,787	11,052,149	11,222,672	11,655,441	8,839,156	7,367,584
未払収益分配金	9,989,294	10,182,158	10,022,421	10,070,114	6,614,710	6,435,900
未払解約金	37,394	2,830	272,890	561,216	1,305,698	90,540
未払信託報酬	1,060,620	855,457	910,098	1,000,736	889,939	807,409
その他未払費用	6,479	11,704	17,263	23,375	28,809	33,735
(C) 純資産総額 (A - B)	845,001,678	837,916,882	810,940,439	846,761,038	796,405,409	784,049,330
元本	1,109,921,647	1,131,350,960	1,113,602,353	1,118,901,645	1,102,451,799	1,072,650,125
次期繰越損益金	△ 264,919,969	△ 293,434,078	△ 302,661,914	△ 272,140,607	△ 306,046,390	△ 288,600,795
(D) 受益権総口数	1,109,921,647口	1,131,350,960口	1,113,602,353口	1,118,901,645口	1,102,451,799口	1,072,650,125口
1万口当り基準価額 (C/D)	7,613円	7,406円	7,282円	7,568円	7,224円	7,309円

*第71期末における元本額は1,201,136,980円、当作成期間(第72期~第77期)中における追加設定元本額は169,957,573円、同解約元本額は298,444,428円です。

*第77期末の計算口数当りの純資産額は7,309円です。

*第77期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は288,600,795円です。

■損益の状況

第72期 自2017年9月8日 至2017年10月10日

第73期 自2017年10月11日 至2017年11月7日

第74期 自2017年11月8日 至2017年12月7日

第75期 自2017年12月8日 至2018年1月9日

第76期 自2018年1月10日 至2018年2月7日

第77期 自2018年2月8日 至2018年3月7日

項目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(A) 配当等収益	5,940,051円	5,532,256円	6,108,542円	5,900,446円	5,526,853円	5,695,897円
受取配当金	5,941,128	5,533,012	6,109,266	5,901,127	5,527,360	5,696,651
受取利息	2	1	2	—	1	2
支払利息	△ 1,079	△ 757	△ 726	△ 681	△ 508	△ 756
(B) 有価証券売買損益	19,488,730	△ 17,393,957	△ 9,024,843	36,965,673	△ 35,931,392	10,714,724
売買益	19,969,873	583,405	106,604	37,021,551	101,975	11,147,328
売買損	△ 481,143	△ 17,977,362	△ 9,131,447	△ 55,878	△ 36,033,367	△ 432,604
(C) 信託報酬等	△ 1,067,099	△ 860,682	△ 915,657	△ 1,006,848	△ 895,373	△ 812,335
(D) 当期損益金 (A + B + C)	24,361,682	△ 12,722,383	△ 3,831,958	41,859,271	△ 31,299,912	15,598,286
(E) 前期繰越損益金	△ 111,811,556	△ 87,801,483	△ 102,123,819	△ 110,655,378	△ 73,151,412	△ 104,397,222
(F) 追加信託差損益金	△ 167,480,801	△ 182,728,054	△ 186,683,716	△ 193,274,386	△ 194,980,356	△ 193,365,959
(配当等相当額)	(67,087,957)	(64,192,822)	(57,764,465)	(53,219,518)	(48,196,239)	(44,968,444)
(売買損益相当額)	(△ 234,568,758)	(△ 246,920,876)	(△ 244,448,181)	(△ 246,493,904)	(△ 243,176,595)	(△ 238,334,403)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 254,930,675	△ 283,251,920	△ 292,639,493	△ 262,070,493	△ 299,431,680	△ 282,164,895
(H) 収益分配金	△ 9,989,294	△ 10,182,158	△ 10,022,421	△ 10,070,114	△ 6,614,710	△ 6,435,900
次期繰越損益金 (G + H)	△ 264,919,969	△ 293,434,078	△ 302,661,914	△ 272,140,607	△ 306,046,390	△ 288,600,795
追加信託差損益金	△ 171,779,321	△ 188,238,640	△ 191,513,255	△ 197,582,600	△ 196,963,587	△ 194,387,924
(配当等相当額)	(62,789,437)	(58,682,236)	(52,934,926)	(48,911,304)	(46,213,008)	(43,946,479)
(売買損益相当額)	(△ 234,568,758)	(△ 246,920,876)	(△ 244,448,181)	(△ 246,493,904)	(△ 243,176,595)	(△ 238,334,403)
繰越損益金	△ 93,140,648	△ 105,195,438	△ 111,148,659	△ 74,558,007	△ 109,082,803	△ 94,212,871

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は11ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 経費控除後の配当等収益	5,690,774円	4,671,572円	5,192,882円	5,761,900円	4,631,479円	5,413,935円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	67,087,957	64,192,822	57,764,465	53,219,518	48,196,239	44,968,444
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	72,778,731	68,864,394	62,957,347	58,981,418	52,827,718	50,382,379
(f) 分配金	9,989,294	10,182,158	10,022,421	10,070,114	6,614,710	6,435,900
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	62,789,437	58,682,236	52,934,926	48,911,304	46,213,008	43,946,479
(h) 受益権総口数	1,109,921,647口	1,131,350,960口	1,113,602,353口	1,118,901,645口	1,102,451,799口	1,072,650,125口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	(単 価)	90円	90円	90円	90円	60円
	(7,613円)	(7,406円)	(7,282円)	(7,568円)	(7,224円)	(7,309円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
48期末 (2015年10月7日)	7,339	150	7.0	16,969	3.1	86.02	4.2	0.0	99.1	10,502
49期末 (2015年11月9日)	7,550	150	4.9	17,992	6.0	86.79	0.9	0.0	98.8	10,554
50期末 (2015年12月7日)	7,732	150	4.4	17,927	△ 0.4	90.27	4.0	0.0	99.0	10,557
51期末 (2016年1月7日)	6,691	150	△ 11.5	17,058	△ 4.8	83.94	△ 7.0	0.0	98.3	9,190
52期末 (2016年2月8日)	6,138	150	△ 6.0	16,113	△ 5.5	83.04	△ 1.1	0.0	99.0	8,304
53期末 (2016年3月7日)	6,497	150	8.3	17,141	6.4	84.26	1.5	0.0	99.2	8,632
54期末 (2016年4月7日)	6,443	150	1.5	17,713	3.3	83.52	△ 0.9	—	99.0	8,388
55期末 (2016年5月9日)	5,811	150	△ 7.5	17,631	△ 0.5	79.14	△ 5.2	0.0	98.9	7,504
56期末 (2016年6月7日)	5,985	100	4.7	18,079	2.5	79.16	0.0	0.0	98.6	7,468
57期末 (2016年7月7日)	5,500	100	△ 6.4	17,996	△ 0.5	75.95	△ 4.1	0.0	98.8	6,515
58期末 (2016年8月8日)	5,845	100	8.1	18,709	4.0	77.64	2.2	0.0	99.3	6,559
59期末 (2016年9月7日)	5,817	100	1.2	18,740	0.2	77.78	0.2	0.0	99.1	6,046
60期末 (2016年10月7日)	5,694	100	△ 0.4	18,519	△ 1.2	78.50	0.9	0.0	99.1	5,815
61期末 (2016年11月7日)	5,404	100	△ 3.3	17,872	△ 3.5	79.78	1.6	0.0	98.7	5,210
62期末 (2016年12月7日)	6,057	100	13.9	18,960	6.1	84.74	6.2	0.0	98.4	5,688
63期末 (2017年1月10日)	6,126	100	2.8	19,446	2.6	85.16	0.5	0.0	98.6	5,615
64期末 (2017年2月7日)	6,109	100	1.4	19,649	1.0	85.35	0.2	0.0	98.2	5,531
65期末 (2017年3月7日)	6,261	100	4.1	20,358	3.6	86.48	1.3	0.0	99.0	5,569
66期末 (2017年4月7日)	5,889	100	△ 4.3	20,205	△ 0.8	83.63	△ 3.3	0.0	98.7	5,104
67期末 (2017年5月8日)	5,874	100	1.4	20,564	1.8	83.47	△ 0.2	0.0	98.8	5,013
68期末 (2017年6月7日)	5,640	100	△ 2.3	20,821	1.3	82.17	△ 1.6	0.0	98.3	4,736
69期末 (2017年7月7日)	5,843	100	5.4	20,653	△ 0.8	85.84	4.5	0.0	98.6	4,821
70期末 (2017年8月7日)	5,952	100	3.6	21,228	2.8	87.86	2.4	0.0	98.5	4,728
71期末 (2017年9月7日)	5,819	100	△ 0.6	21,132	△ 0.5	87.50	△ 0.4	—	98.8	4,457
72期末 (2017年10月10日)	5,941	100	3.8	21,810	3.2	87.61	0.1	—	98.6	4,420
73期末 (2017年11月7日)	5,749	100	△ 1.5	22,208	1.8	87.49	△ 0.1	—	98.2	4,089
74期末 (2017年12月7日)	5,478	100	△ 3.0	22,535	1.5	84.91	△ 2.9	0.0	98.5	3,856
75期末 (2018年1月9日)	5,940	100	10.3	23,550	4.5	88.86	4.7	—	98.9	4,113
76期末 (2018年2月7日)	5,463	70	△ 6.9	23,099	△ 1.9	86.42	△ 2.7	—	98.3	3,677
77期末 (2018年3月7日)	5,319	70	△ 1.4	23,382	1.2	82.15	△ 4.9	—	98.5	3,511

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

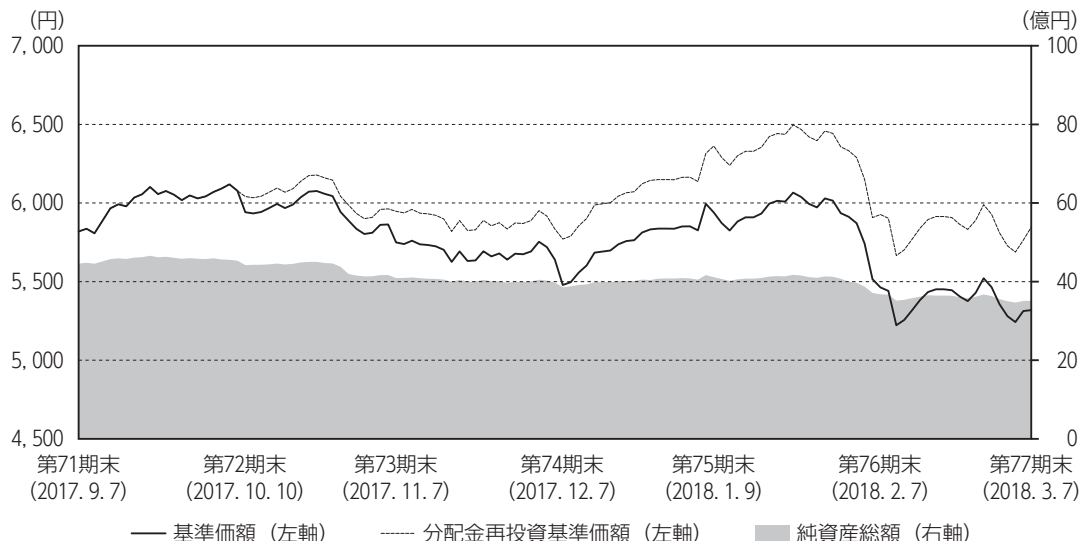
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第72期首：5,819円

第77期末：5,319円 (既払分配金540円)

騰落率：0.5% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

主にオージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) (以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」) に投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を活用した結果、株価が上昇したことや為替取引によるプレミアム (金利差相当分の収益) が寄与し、上昇しました。一方、豪ドルが対円で下落したことやオプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第72期	(期首) 2017年 9月 7日	5,819	—	21,132	—	87.50	—	—	98.8
	9月末	6,029	3.6	21,513	1.8	88.47	1.1	—	98.6
	(期末) 2017年10月10日	6,041	3.8	21,810	3.2	87.61	0.1	—	98.6
第73期	(期首) 2017年10月10日	5,941	—	21,810	—	87.61	—	—	98.6
	10月末	5,803	△ 2.3	22,051	1.1	86.95	△ 0.8	—	98.4
	(期末) 2017年11月 7日	5,849	△ 1.5	22,208	1.8	87.49	△ 0.1	—	98.2
第74期	(期首) 2017年11月 7日	5,749	—	22,208	—	87.49	—	—	98.2
	11月末	5,674	△ 1.3	22,507	1.3	84.87	△ 3.0	—	99.3
	(期末) 2017年12月 7日	5,578	△ 3.0	22,535	1.5	84.91	△ 2.9	0.0	98.5
第75期	(期首) 2017年12月 7日	5,478	—	22,535	—	84.91	—	0.0	98.5
	12月末	5,852	6.8	23,034	2.2	88.17	3.8	—	98.9
	(期末) 2018年 1月 9日	6,040	10.3	23,550	4.5	88.86	4.7	—	98.9
第76期	(期首) 2018年 1月 9日	5,940	—	23,550	—	88.86	—	—	98.9
	1月末	5,935	△ 0.1	24,190	2.7	87.79	△ 1.2	—	98.9
	(期末) 2018年 2月 7日	5,533	△ 6.9	23,099	△ 1.9	86.42	△ 2.7	—	98.3
第77期	(期首) 2018年 2月 7日	5,463	—	23,099	—	86.42	—	—	98.3
	2月末	5,465	0.0	23,521	1.8	83.66	△ 3.2	0.0	98.8
	(期末) 2018年 3月 7日	5,389	△ 1.4	23,382	1.2	82.15	△ 4.9	—	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 9. 8 ~ 2018. 3. 7)

■米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。第72期首から2018年1月にかけて、原油価格の上昇、税制改革への期待の高まりや好調な企業決算を背景に、上昇相場が続く展開となりました。しかし2月に入ってからは、米国金利の急激な上昇を受けて株式市場への資金流入に悪影響が及ぶとの懸念から、株価は急落しました。その後、株価は反発に転じ、戻り歩調となりましたが、長期金利の動向が意識され、やや不安定な推移となりました。

■為替相場

豪ドルは対円で下落しました。第72期首から2017年11月にかけては、市場のリスク回避姿勢が高まったことなどから豪ドルは対円で下落しました。12月に入ってからは、オーストラリアの市場予想を上回る経済指標が好感され上昇しました。2018年2月以降は、米国金利の上昇などを背景に株価が急落する中で市場のリスク回避的な姿勢が強まり、豪ドルは対円で下落しました。

■短期金利市況

オーストラリアの短期金利は、RBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利を1.50%で据え置きました。

一方、米国の短期金利は、FRB（米国連邦準備制度理事会）がFOMC（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを1.00~1.25%から1.25~1.50%に引き上げました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（GICS）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当

該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないます。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017. 9. 8 ~ 2018. 3. 7)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないました。

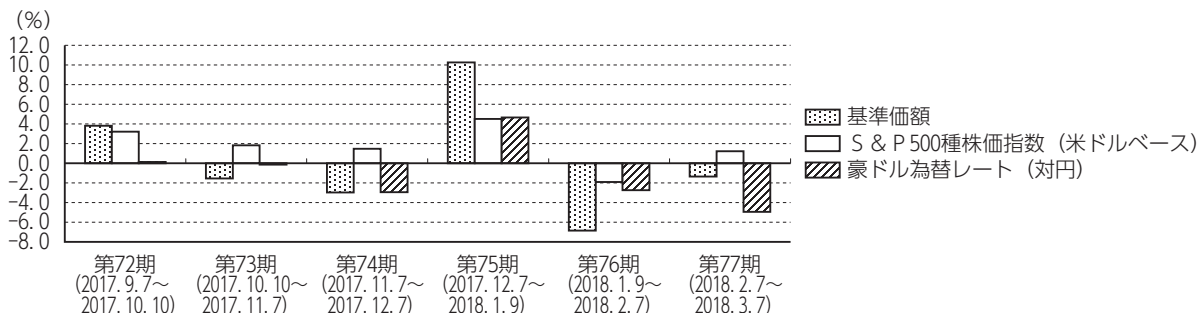
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先およびコール・ローンによる運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第72期～第75期はそれぞれ100円、第76期～第77期はそれぞれ70円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2017年9月8日 ～2017年10月10日	2017年10月11日 ～2017年11月7日	2017年11月8日 ～2017年12月7日	2017年12月8日 ～2018年1月9日	2018年1月10日 ～2018年2月7日	2018年2月8日 ～2018年3月7日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	100	70	70
対基準価額比率（%）	1.66	1.71	1.79	1.66	1.27	1.30
当期の収益（円）	46	44	44	45	41	43
当期の収益以外（円）	53	55	55	54	28	26
翌期繰越分配対象額（円）	750	695	639	586	557	531

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 経費控除後の配当等収益	46.92円	44.64円	44.02円	45.78円	41.18円	43.86円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	803.77	750.75	695.59	640.26	586.13	557.33
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	850.69	795.39	739.62	686.04	627.31	601.19
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	750.69	695.39	639.62	586.04	557.31	531.19

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■ 当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないます。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第72期～第77期 (2017.9.8～2018.3.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	38円	0.655%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,779円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(25)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	38	0.659	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

決算期	第72期～第77期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 2,069.692	千円 209,070	千口 10,094.671	千円 1,020,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

第72期～				第77期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	10,094.671	1,020,000	101

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間(第72期～第77期)中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第77期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	千口 36,231.891	千円 3,459,855	% 98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第71期末	第77期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 643	千口 643	千円 655

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年3月7日現在

項目	第77期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 3,459,855	% 96.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	655	0.0
コール・ローン等、その他	117,244	3.3
投資信託財産総額	3,577,755	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年10月10日)、(2017年11月7日)、(2017年12月7日)、(2018年1月9日)、(2018年2月7日)、(2018年3月7日)現在

項目	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末
(A) 資産	4,540,206,260円	4,172,005,326円	3,932,775,755円	4,217,520,649円	3,746,967,374円	3,577,755,367円
コール・ローン等	180,419,356	153,577,513	131,837,447	149,785,153	129,968,885	117,244,405
投資信託受益証券 (評価額)	4,359,131,617	4,017,772,526	3,800,283,086	4,067,080,274	3,616,343,331	3,459,855,804
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	655,287	655,287	655,222	655,222	655,158	655,158
(B) 負債	119,710,011	82,280,759	76,528,664	104,070,896	69,616,470	66,031,160
未払収益分配金	74,401,037	71,131,988	70,399,409	69,251,027	47,119,032	46,213,924
未払解約金	39,814,788	6,681,660	1,655,813	29,881,353	18,082,825	16,015,731
未払信託報酬	5,460,771	4,406,730	4,386,223	4,821,796	4,271,754	3,636,394
その他未払費用	33,415	60,381	87,219	116,720	142,859	165,111
(C) 純資産総額 (A - B)	4,420,496,249	4,089,724,567	3,856,247,091	4,113,449,753	3,677,350,904	3,511,724,207
元本	7,440,103,726	7,113,198,842	7,039,940,936	6,925,102,775	6,731,290,333	6,601,989,160
次期繰越損益金	△ 3,019,607,477	△ 3,023,474,275	△ 3,183,693,845	△ 2,811,653,022	△ 3,053,939,429	△ 3,090,264,953
(D) 受益権総口数	7,440,103,726口	7,113,198,842口	7,039,940,936口	6,925,102,775口	6,731,290,333口	6,601,989,160口
1万口当り基準価額 (C/D)	5,941円	5,749円	5,478円	5,940円	5,463円	5,319円

* 第71期末における元本額は7,660,884,600円、当作成期間 (第72期~第77期) 中における追加設定元本額は328,414,527円、同解約元本額は1,387,309,967円です。

* 第77期末の計算口数当りの純資産額は5,319円です。

* 第77期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,090,264,953円です。

■損益の状況

第72期 自2017年9月8日 至2017年10月10日

第73期 自2017年10月11日 至2017年11月7日

第74期 自2017年11月8日 至2017年12月7日

第75期 自2017年12月8日 至2018年1月9日

第76期 自2018年1月10日 至2018年2月7日

第77期 自2018年2月8日 至2018年3月7日

項目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(A) 配当等収益	36,074,148円	36,190,651円	35,403,380円	32,104,891円	32,019,237円	32,616,970円
受取配当金	36,078,242	36,193,544	35,406,467	32,107,916	32,021,365	32,619,048
受取利息	4	3	1	6	2	5
支払利息	△ 4,098	△ 2,896	△ 3,088	△ 3,031	△ 2,130	△ 2,083
(B) 有価証券売買損益	134,278,335	△ 97,110,209	△ 151,721,488	358,366,657	△ 301,645,798	△ 77,687,225
売買益	138,445,913	1,363,741	1,238,177	363,981,042	1,412,236	1,477,915
売買損	△ 4,167,578	△ 98,473,950	△ 152,959,665	△ 5,614,385	△ 303,058,034	△ 79,165,140
(C) 信託報酬等	△ 5,494,186	△ 4,433,696	△ 4,413,061	△ 4,851,297	△ 4,297,893	△ 3,658,646
(D) 当期損益金 (A + B + C)	164,858,297	△ 65,353,254	△ 120,731,169	385,620,251	△ 273,924,454	△ 48,728,901
(E) 前期繰越損益金	△ 1,866,224,937	△ 1,652,106,510	△ 1,717,291,381	△ 1,803,892,442	△ 1,401,875,943	△ 1,665,909,788
(F) 追加信託差損益金	△ 1,243,839,800	△ 1,234,882,523	△ 1,275,271,886	△ 1,324,129,804	△ 1,331,020,000	△ 1,329,412,340
(配当等相当額)	(598,017,750)	(534,025,648)	(489,698,014)	(443,389,820)	(394,543,667)	(367,953,088)
(売買損益相当額)	(△ 1,841,857,550)	(△ 1,768,908,171)	(△ 1,764,969,900)	(△ 1,767,519,624)	(△ 1,725,563,667)	(△ 1,697,365,428)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 2,945,206,440	△ 2,952,342,287	△ 3,113,294,436	△ 2,742,401,995	△ 3,006,820,397	△ 3,044,051,029
(H) 収益分配金	△ 74,401,037	△ 71,131,988	△ 70,399,409	△ 69,251,027	△ 47,119,032	△ 46,213,924
次期繰越損益金 (G + H)	△ 3,019,607,477	△ 3,023,474,275	△ 3,183,693,845	△ 2,811,653,022	△ 3,053,939,429	△ 3,090,264,953
追加信託差損益金	△ 1,283,330,388	△ 1,274,257,574	△ 1,314,681,001	△ 1,361,674,745	△ 1,350,417,713	△ 1,346,667,962
(配当等相当額)	(558,527,162)	(494,650,597)	(450,288,899)	(405,844,879)	(375,145,954)	(350,697,466)
(売買損益相当額)	(△ 1,841,857,550)	(△ 1,768,908,171)	(△ 1,764,969,900)	(△ 1,767,519,624)	(△ 1,725,563,667)	(△ 1,697,365,428)
繰越損益金	△ 1,736,277,089	△ 1,749,216,701	△ 1,869,012,844	△ 1,449,978,277	△ 1,703,521,716	△ 1,743,596,991

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は22ページの「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 経費控除後の配当等収益	34,910,449円	31,756,937円	30,990,294円	31,706,086円	27,721,319円	28,958,302円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	598,017,750	534,025,648	489,698,014	443,389,820	394,543,667	367,953,088
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	632,928,199	565,782,585	520,688,308	475,095,906	422,264,986	396,911,390
(f) 分配金	74,401,037	71,131,988	70,399,409	69,251,027	47,119,032	46,213,924
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	558,527,162	494,650,597	450,288,899	405,844,879	375,145,954	350,697,466
(h) 受益権総口数	7,440,103,726口	7,113,198,842口	7,039,940,936口	6,925,102,775口	6,731,290,333口	6,601,989,160口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	(単 価)	100円	100円	100円	100円	70円
	(5,941円)	(5,749円)	(5,478円)	(5,940円)	(5,463円)	(5,319円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
48期末(2015年10月7日)	4,319	100	2.6	16,969	3.1	31.23	0.8	0.0	99.1	155,297
49期末(2015年11月9日)	4,542	100	7.5	17,992	6.0	32.72	4.8	0.0	98.8	160,651
50期末(2015年12月7日)	4,577	100	3.0	17,927	△ 0.4	32.84	0.4	0.0	99.0	160,226
51期末(2016年1月7日)	3,857	100	△ 13.5	17,058	△ 4.8	29.44	△ 10.4	0.0	98.9	132,134
52期末(2016年2月8日)	3,630	100	△ 3.3	16,113	△ 5.5	29.95	1.7	0.0	99.0	121,832
53期末(2016年3月7日)	3,871	100	9.4	17,141	6.4	30.29	1.1	0.0	99.0	128,718
54期末(2016年4月7日)	3,832	100	1.6	17,713	3.3	30.10	△ 0.6	—	99.0	125,430
55期末(2016年5月9日)	3,703	100	△ 0.8	17,631	△ 0.5	30.69	2.0	0.0	98.9	120,334
56期末(2016年6月7日)	3,860	70	6.1	18,079	2.5	30.77	0.3	0.0	98.6	123,741
57期末(2016年7月7日)	3,700	70	△ 2.3	17,996	△ 0.5	30.32	△ 1.5	0.0	99.4	111,135
58期末(2016年8月8日)	4,080	70	12.2	18,709	4.0	32.25	6.4	0.0	99.3	117,443
59期末(2016年9月7日)	4,000	70	△ 0.2	18,740	0.2	31.71	△ 1.7	0.0	99.3	112,873
60期末(2016年10月7日)	4,004	70	1.9	18,519	△ 1.2	32.13	1.3	0.0	99.3	108,731
61期末(2016年11月7日)	3,767	70	△ 4.2	17,872	△ 3.5	32.12	△ 0.0	0.0	98.7	98,855
62期末(2016年12月7日)	4,149	70	12.0	18,960	6.1	33.48	4.2	0.0	99.3	105,586
63期末(2017年1月10日)	4,605	70	12.7	19,446	2.6	36.25	8.3	0.0	98.8	114,384
64期末(2017年2月7日)	4,571	70	0.8	19,649	1.0	35.83	△ 1.2	0.0	98.6	110,071
65期末(2017年3月7日)	4,754	70	5.5	20,358	3.6	36.33	1.4	0.0	98.8	111,233
66期末(2017年4月7日)	4,524	70	△ 3.4	20,205	△ 0.8	35.29	△ 2.9	0.0	98.5	102,252
67期末(2017年5月8日)	4,494	70	0.9	20,564	1.8	35.48	0.5	0.0	99.0	99,378
68期末(2017年6月7日)	4,214	70	△ 4.7	20,821	1.3	33.40	△ 5.9	0.0	98.5	91,063
69期末(2017年7月7日)	4,327	70	4.3	20,653	△ 0.8	34.34	2.8	0.0	98.9	91,521
70期末(2017年8月7日)	4,501	70	5.6	21,228	2.8	35.35	2.9	0.0	98.5	93,203
71期末(2017年9月7日)	4,392	70	△ 0.9	21,132	△ 0.5	35.21	△ 0.4	—	98.6	88,650
72期末(2017年10月10日)	4,572	70	5.7	21,810	3.2	35.37	0.5	—	98.9	89,370
73期末(2017年11月7日)	4,333	70	△ 3.7	22,208	1.8	34.98	△ 1.1	—	98.9	83,152
74期末(2017年12月7日)	4,260	70	△ 0.1	22,535	1.5	34.76	△ 0.6	0.0	99.0	80,293
75期末(2018年1月9日)	4,471	70	6.6	23,550	4.5	34.95	0.5	—	98.9	82,741
76期末(2018年2月7日)	4,071	70	△ 7.4	23,099	△ 1.9	33.82	△ 3.2	—	98.5	74,168
77期末(2018年3月7日)	4,027	70	0.6	23,382	1.2	32.89	△ 2.7	—	98.6	72,555

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

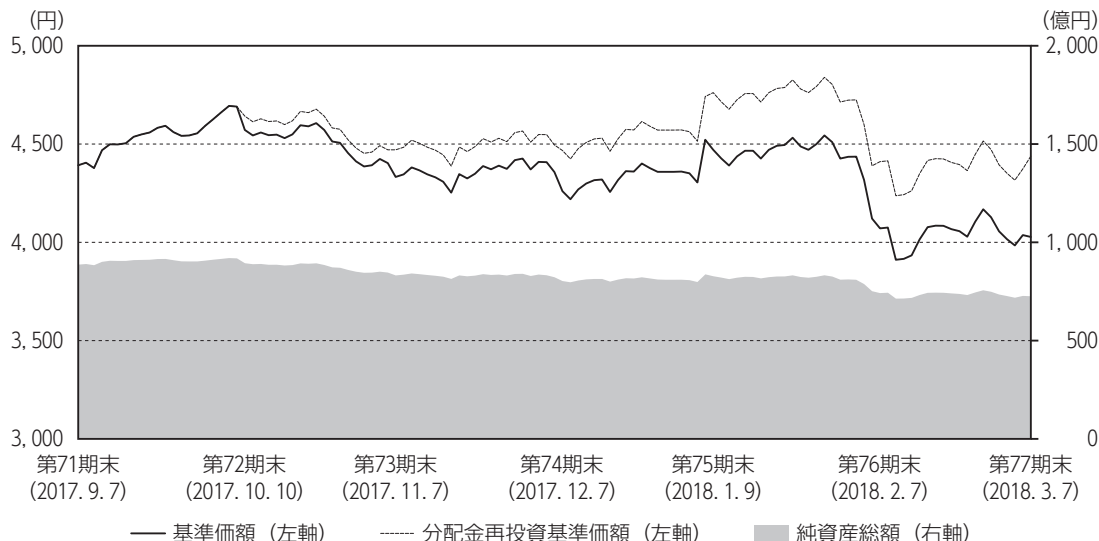
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第72期首：4,392円

第77期末：4,027円（既払分配金420円）

騰落率：1.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の変動要因

主にオージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」といいます。）に投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用した結果、株価が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が寄与し、上昇しました。一方、ブラジル・リアルが対円で下落したことやオプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第72期	(期首) 2017年 9月 7日	4,392	—	21,132	—	35.21	—	—	98.6
	9月末	4,555	3.7	21,513	1.8	35.39	0.5	—	98.5
	(期末) 2017年10月10日	4,642	5.7	21,810	3.2	35.37	0.5	—	98.9
第73期	(期首) 2017年10月10日	4,572	—	21,810	—	35.37	—	—	98.9
	10月末	4,386	△ 4.1	22,051	1.1	34.47	△ 2.5	—	98.7
	(期末) 2017年11月 7日	4,403	△ 3.7	22,208	1.8	34.98	△ 1.1	—	98.9
第74期	(期首) 2017年11月 7日	4,333	—	22,208	—	34.98	—	—	98.9
	11月末	4,426	2.1	22,507	1.3	34.53	△ 1.3	—	98.9
	(期末) 2017年12月 7日	4,330	△ 0.1	22,535	1.5	34.76	△ 0.6	0.0	99.0
第75期	(期首) 2017年12月 7日	4,260	—	22,535	—	34.76	—	0.0	99.0
	12月末	4,351	2.1	23,034	2.2	34.07	△ 2.0	—	99.6
	(期末) 2018年 1月 9日	4,541	6.6	23,550	4.5	34.95	0.5	—	98.9
第76期	(期首) 2018年 1月 9日	4,471	—	23,550	—	34.95	—	—	98.9
	1月末	4,426	△ 1.0	24,190	2.7	34.20	△ 2.1	—	98.8
	(期末) 2018年 2月 7日	4,141	△ 7.4	23,099	△ 1.9	33.82	△ 3.2	—	98.5
第77期	(期首) 2018年 2月 7日	4,071	—	23,099	—	33.82	—	—	98.5
	2月末	4,128	1.4	23,521	1.8	33.02	△ 2.4	0.0	99.0
	(期末) 2018年 3月 7日	4,097	0.6	23,382	1.2	32.89	△ 2.7	—	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 9. 8 ~ 2018. 3. 7)

■米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。第72期首から2018年1月にかけて、原油価格の上昇、税制改革への期待の高まりや好調な企業決算を背景に、上昇相場が続く展開となりました。しかし2月に入ってからは、米国金利の急激な上昇を受けて株式市場への資金流入に悪影響が及ぶとの懸念から、株価は急落しました。その後、株価は反発に転じ、戻り歩調となりましたが、長期金利の動向が意識され、やや不安定な推移となりました。

■為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。ブラジルの政治情勢の不透明感が嫌気されたことや、米国の長期金利上昇の影響による世界的な株式市場の下落に伴って投資家のリスク回避姿勢が強まったことを受けて、リアルは対円で軟調に推移しました。

■短期金利市況

ブラジルの短期金利は、ブラジル中央銀行が政策金利を8.25%から合計1.50%ポイント引き下げ、6.75%としました。

一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを1.00~1.25%から1.25~1.50%に引き上げました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行な

います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017. 9. 8 ~ 2018. 3. 7)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行ないました。

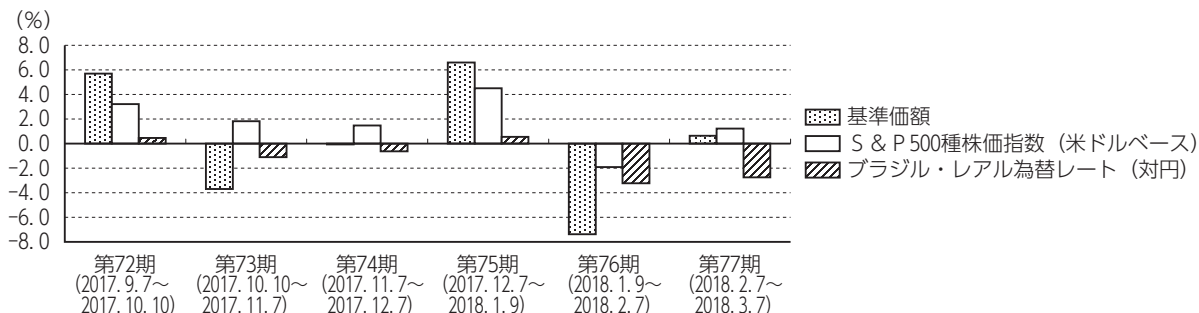
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先およびコール・ローンによる運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第72期～第77期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ70円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2017年9月8日 ～2017年10月10日	2017年10月11日 ～2017年11月7日	2017年11月8日 ～2017年12月7日	2017年12月8日 ～2018年1月9日	2018年1月10日 ～2018年2月7日	2018年2月8日 ～2018年3月7日
当期分配金（税込み）（円）	70	70	70	70	70	70
対基準価額比率（%）	1.51	1.59	1.62	1.54	1.69	1.71
当期の収益（円）	56	55	51	50	47	47
当期の収益以外（円）	13	14	18	19	22	22
翌期繰越分配対象額（円）	1,540	1,526	1,508	1,488	1,466	1,444

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 経費控除後の配当等収益	56.32円	55.88円	51.58円	50.52円	47.78円	47.56円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,554.32	1,540.82	1,526.74	1,508.35	1,488.90	1,466.71
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,610.65	1,596.71	1,578.33	1,558.88	1,536.69	1,514.28
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,540.65	1,526.71	1,508.33	1,488.88	1,466.69	1,444.28

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行ないます。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第72期～第77期 (2017.9.8～2018.3.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	29円	0.654%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,370円です。
(投 信 会 社)	(9)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	29	0.655	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

決算期	第 72 期 ~ 第 77 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	101,378.898	6,281,050	286,254.727	17,700,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

買 付 銘柄	第 72 期 ~			第 77 期		
	買 付			売 付		
	□ 数	金 額	平均単価	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円	千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	286,254.727	17,700,000				61

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間(第72期~第77期)中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 77 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	1,224,579.347	71,575,438	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第71期末	第 77 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,401	4,401	4,483

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年3月7日現在

項 目	第 77 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	71,575,438	96.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,483	0.0
コール・ローン等、その他	2,638,978	3.6
投資信託財産総額	74,218,900	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年10月10日)、(2017年11月7日)、(2017年12月7日)、(2018年1月9日)、(2018年2月7日)、(2018年3月7日)現在

項目	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末
(A) 資産	91,351,477,862円	85,011,769,174円	82,194,066,151円	84,372,248,057円	75,672,877,887円	74,218,900,341円
コール・ローン等	2,934,243,620	2,781,798,830	2,723,216,366	2,577,303,785	2,622,859,966	2,638,978,156
投資信託受益証券 (評価額)	88,412,749,439	82,225,485,541	79,466,365,422	81,790,459,909	73,045,533,998	71,575,438,262
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	4,484,803	4,484,803	4,484,363	4,484,363	4,483,923	4,483,923
(B) 負債	1,980,659,709	1,859,165,188	1,900,470,524	1,631,231,968	1,504,328,565	1,663,568,433
未払収益分配金	1,368,375,348	1,343,416,652	1,319,458,170	1,295,400,287	1,275,287,774	1,261,230,083
未払解約金	503,653,714	426,805,155	489,929,397	238,003,837	142,171,099	326,921,306
未払信託報酬	108,427,084	88,571,775	90,532,277	97,076,401	85,935,870	74,305,877
その他未払費用	203,563	371,606	550,680	751,443	933,822	1,111,167
(C) 純資産総額 (A - B)	89,370,818,153	83,152,603,986	80,293,595,627	82,741,016,089	74,168,549,322	72,555,331,908
元本	195,482,192,655	191,916,664,705	188,494,024,345	185,057,183,862	182,183,967,794	180,175,726,249
次期繰越損益金	△106,111,374,502	△108,764,060,719	△108,200,428,718	△102,316,167,773	△108,015,418,472	△107,620,394,341
(D) 受益権総口数	195,482,192,655口	191,916,664,705口	188,494,024,345口	185,057,183,862口	182,183,967,794口	180,175,726,249口
1万口当り基準価額 (C/D)	4,572円	4,333円	4,260円	4,471円	4,071円	4,027円

* 第71期末における元本額は201,862,929,117円、当作成期間 (第72期～第77期) 中における追加設定元本額は4,763,034,112円、同解約元本額は26,450,236,980円です。

* 第77期末の計算口数当りの純資産額は4,027円です。

* 第77期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は107,620,394,341円です。

■損益の状況

第72期 自2017年9月8日 至2017年10月10日 第74期 自2017年11月8日 至2017年12月7日 第76期 自2018年1月10日 至2018年2月7日
 第73期 自2017年10月11日 至2017年11月7日 第75期 自2017年12月8日 至2018年1月9日 第77期 自2018年2月8日 至2018年3月7日

項目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(A) 配当等収益	1,125,547,935円	1,161,334,925円	1,063,091,565円	952,514,504円	956,664,536円	931,434,853円
受取配当金	1,125,622,086	1,161,378,164	1,063,133,965	952,556,395	956,707,580	931,478,833
受取利息	147	87	65	93	70	27
支払利息	△ 74,298	△ 43,326	△ 42,465	△ 41,984	△ 43,114	△ 44,007
(B) 有価証券売買損益	3,865,661,587	△ 4,310,435,901	△ 1,029,200,320	4,350,235,681	△ 6,882,740,031	△ 389,918,772
売買益	3,938,721,296	4,326,130	21,002,384	4,359,466,285	20,403,964	16,885,621
売買損	△ 73,059,709	△ 4,352,802,031	△ 1,050,202,704	△ 9,230,604	△ 6,903,143,995	△ 406,804,393
(C) 信託報酬等	△ 108,630,647	△ 88,739,818	△ 90,711,351	△ 97,277,164	△ 86,118,249	△ 74,483,222
(D) 当期損益金 (A + B + C)	4,882,578,875	△ 3,237,840,794	△ 56,820,106	5,205,473,021	△ 6,012,193,744	467,032,859
(E) 前期繰越損益金	△ 61,328,518,338	△ 56,168,489,619	△ 59,179,811,881	△ 58,849,053,640	△ 53,591,755,321	△ 59,594,073,635
(F) 追加信託差損益金	△ 48,297,059,691	△ 48,014,313,654	△ 47,644,338,561	△ 47,377,186,867	△ 47,136,181,633	△ 47,232,123,482
(配当等相当額)	(30,384,368,644)	(29,571,064,696)	(28,778,282,785)	(27,913,258,848)	(27,125,512,321)	(26,426,730,862)
(売買損益相当額)	(△ 78,681,428,335)	(△ 77,585,378,350)	(△ 76,422,621,346)	(△ 75,290,445,715)	(△ 74,261,693,954)	(△ 73,658,854,344)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 104,742,999,154	△ 107,420,644,067	△ 106,880,970,548	△ 101,020,767,866	△ 106,740,130,698	△ 106,359,164,258
(H) 収益分配金	1,368,375,348	1,343,416,652	1,319,458,170	1,295,400,287	1,275,287,774	1,261,230,083
次期繰越損益金 (G + H)	△ 106,111,374,502	△ 108,764,060,719	△ 108,200,428,718	△ 102,316,167,773	△ 108,015,418,472	△ 107,620,394,341
追加信託差損益金	△ 48,564,383,537	△ 48,285,135,357	△ 47,991,416,720	△ 47,737,543,828	△ 47,540,923,315	△ 47,636,402,101
(配当等相当額)	(30,117,044,798)	(29,300,242,993)	(28,431,204,626)	(27,552,901,887)	(26,720,770,639)	(26,022,452,243)
(売買損益相当額)	(△ 78,681,428,335)	(△ 77,585,378,350)	(△ 76,422,621,346)	(△ 75,290,445,715)	(△ 74,261,693,954)	(△ 73,658,854,344)
繰越損益金	△ 57,546,990,965	△ 60,478,925,362	△ 60,209,011,998	△ 54,578,623,915	△ 60,474,495,157	△ 59,983,992,240

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は33ページの「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,101,051,502円	1,072,594,949円	972,380,011円	935,043,326円	870,546,092円	856,951,464円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	30,384,368,644	29,571,064,696	28,778,282,785	27,913,258,848	27,125,512,321	26,426,730,862
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	31,485,420,146	30,643,659,645	29,750,662,796	28,848,302,174	27,996,058,413	27,283,682,326
(f) 分配金	1,368,375,348	1,343,416,652	1,319,458,170	1,295,400,287	1,275,287,774	1,261,230,083
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	30,117,044,798	29,300,242,993	28,431,204,626	27,552,901,887	26,720,770,639	26,022,452,243
(h) 受益権総口数	195,482,192,655□	191,916,664,705□	188,494,024,345□	185,057,183,862□	182,183,967,794□	180,175,726,249□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	(単 価)	70円	70円	70円	70円	70円
	(4,572円)	(4,333円)	(4,260円)	(4,471円)	(4,071円)	(4,027円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

米ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
48期末 (2015年10月7日)	12,194	300	4.0	26,600	4.1	0.0	98.6	14,448
49期末 (2015年11月9日)	12,657	300	6.3	28,906	8.7	0.0	98.7	15,997
50期末 (2015年12月7日)	12,341	300	△ 0.1	28,787	△ 0.4	0.0	97.7	16,213
51期末 (2016年1月7日)	11,055	300	△ 8.0	26,368	△ 8.4	0.0	98.2	15,525
52期末 (2016年2月8日)	10,073	300	△ 6.2	24,568	△ 6.8	0.0	98.2	14,784
53期末 (2016年3月7日)	10,138	300	3.6	25,394	3.4	0.0	98.6	15,137
54期末 (2016年4月7日)	9,804	300	△ 0.3	25,294	△ 0.4	—	98.6	15,015
55期末 (2016年5月9日)	9,023	300	△ 4.9	24,684	△ 2.4	0.0	98.5	14,587
56期末 (2016年6月7日)	9,217	200	4.4	25,294	2.5	0.0	96.9	15,563
57期末 (2016年7月7日)	8,295	200	△ 7.8	23,678	△ 6.4	0.0	99.0	13,834
58期末 (2016年8月8日)	8,641	200	6.6	24,893	5.1	0.0	98.9	14,295
59期末 (2016年9月7日)	8,461	200	0.2	24,751	△ 0.6	0.0	98.4	14,017
60期末 (2016年10月7日)	8,333	200	0.9	25,034	1.1	0.0	98.4	13,756
61期末 (2016年11月7日)	7,754	200	△ 4.5	24,207	△ 3.3	0.0	98.6	12,719
62期末 (2016年12月7日)	8,880	200	17.1	28,207	16.5	0.0	97.9	14,642
63期末 (2017年1月10日)	9,099	200	4.7	29,381	4.2	0.0	98.0	15,090
64期末 (2017年2月7日)	8,642	200	△ 2.8	28,609	△ 2.6	0.0	98.5	14,350
65期末 (2017年3月7日)	8,865	200	4.9	30,234	5.7	0.0	98.4	14,910
66期末 (2017年4月7日)	8,318	200	△ 3.9	29,204	△ 3.4	0.0	98.1	14,291
67期末 (2017年5月8日)	8,273	200	1.9	30,207	3.4	0.0	98.7	14,172
68期末 (2017年6月7日)	7,950	140	△ 2.2	29,714	△ 1.6	0.0	98.4	13,815
69期末 (2017年7月7日)	8,178	140	4.6	30,484	2.6	0.0	99.1	13,319
70期末 (2017年8月7日)	7,970	140	△ 0.8	30,613	0.4	0.0	98.5	12,498
71期末 (2017年9月7日)	7,718	140	△ 1.4	30,063	△ 1.8	—	98.8	11,639
72期末 (2017年10月10日)	8,114	140	6.9	32,043	6.6	—	99.3	11,585
73期末 (2017年11月7日)	7,950	140	△ 0.3	32,908	2.7	—	98.4	11,261
74期末 (2017年12月7日)	7,667	140	△ 1.8	33,034	0.4	0.0	99.1	10,690
75期末 (2018年1月9日)	8,015	140	6.4	34,722	5.1	—	98.6	10,984
76期末 (2018年2月7日)	7,339	140	△ 6.7	32,920	△ 5.2	—	98.7	9,943
77期末 (2018年3月7日)	7,141	140	△ 0.8	32,177	△ 2.3	—	98.7	9,614

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

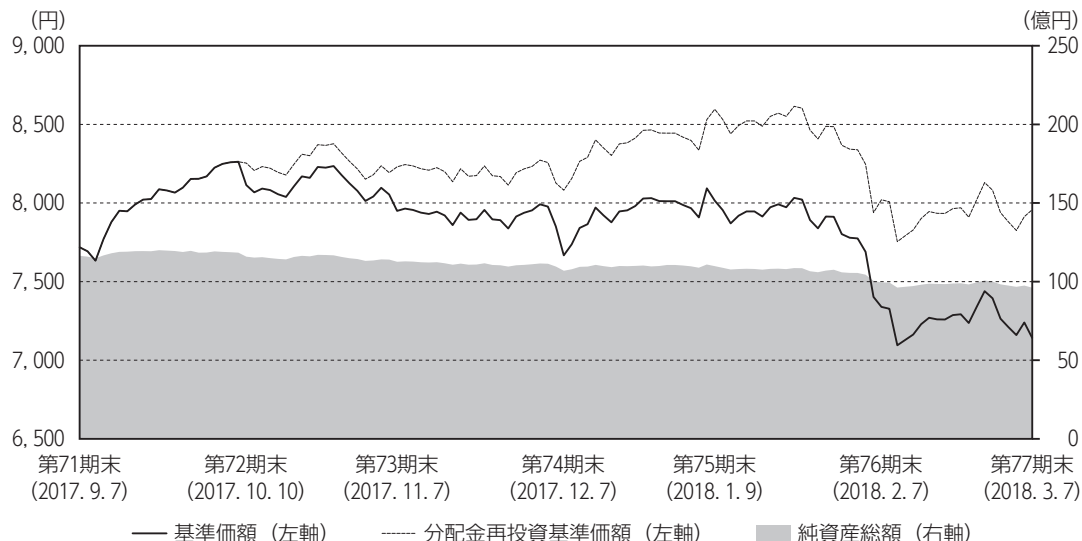
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第72期首：7,718円

第77期末：7,141円 (既払分配金840円)

騰落率：3.1% (分配金再投資ベース)

基準価額の変動要因

主にオージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) (以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」といいます。) に投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことがプラスに寄与しました。一方、米ドルが対円で下落したことやオプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 米ドル・コース（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率		(参考指数)	騰 落 率		
第72期	(期首) 2017年 9月 7日	7,718	—	30,063	—	—	98.8
	9月末	8,154	5.6	31,598	5.1	—	98.5
	(期末) 2017年10月10日	8,254	6.9	32,043	6.6	—	99.3
第73期	(期首) 2017年10月10日	8,114	—	32,043	—	—	99.3
	10月末	8,013	△ 1.2	32,512	1.5	—	99.2
	(期末) 2017年11月 7日	8,090	△ 0.3	32,908	2.7	—	98.4
第74期	(期首) 2017年11月 7日	7,950	—	32,908	—	—	98.4
	11月末	7,938	△ 0.2	32,859	△ 0.1	—	99.2
	(期末) 2017年12月 7日	7,807	△ 1.8	33,034	0.4	0.0	99.1
第75期	(期首) 2017年12月 7日	7,667	—	33,034	—	0.0	99.1
	12月末	7,967	3.9	33,914	2.7	—	99.0
	(期末) 2018年 1月 9日	8,155	6.4	34,722	5.1	—	98.6
第76期	(期首) 2018年 1月 9日	8,015	—	34,722	—	—	98.6
	1月末	7,802	△ 2.7	34,289	△ 1.2	—	98.2
	(期末) 2018年 2月 7日	7,479	△ 6.7	32,920	△ 5.2	—	98.7
第77期	(期首) 2018年 2月 7日	7,339	—	32,920	—	—	98.7
	2月末	7,394	0.7	32,904	△ 0.0	0.0	98.9
	(期末) 2018年 3月 7日	7,281	△ 0.8	32,177	△ 2.3	—	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.9.8～2018.3.7)

■米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。第72期首から2018年1月にかけて、原油価格の上昇、税制改革への期待の高まりや好調な企業決算を背景に、上昇相場が続く展開となりました。しかし2月に入ってからは、米国金利の急激な上昇を受けて株式市場への資金流入に悪影響が及ぶとの懸念から、株価は急落しました。その後、株価は反発に転じ、戻り歩調となりましたが、長期金利の動向が意識され、やや不安定な推移となりました。

■為替相場

米ドルは対円で下落しました。第72期首より、米国の利上げ観測の高まりから米ドルが買われる展開が続きました。しかし2018年1月以降は、日本の金融正常化観測が高まったことや米国のムニューシン財務長官が米ドル安を容認する発言を行なったこと、また世界的な株価下落を受けた投資家のリスク回避的な動きの強まりを背景として、米ドルは対円で軟調に推移しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（GICS）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017. 9. 8 ~ 2018. 3. 7)

当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICSの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

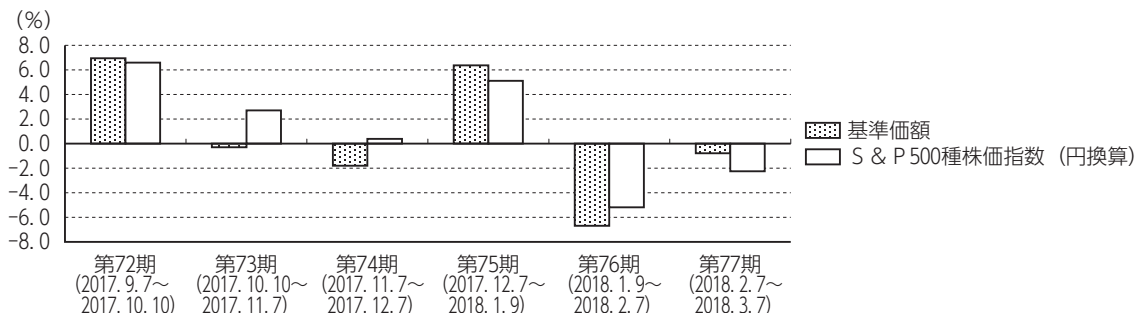
ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先およびコール・ローンによる運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第72期～第77期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ140円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2017年9月8日 ～2017年10月10日	2017年10月11日 ～2017年11月7日	2017年11月8日 ～2017年12月7日	2017年12月8日 ～2018年1月9日	2018年1月10日 ～2018年2月7日	2018年2月8日 ～2018年3月7日
当期分配金（税込み）（円）	140	140	140	140	140	140
対基準価額比率（％）	1.70	1.73	1.79	1.72	1.87	1.92
当期の収益（円）	62	55	57	61	55	56
当期の収益以外（円）	77	84	82	78	84	83
翌期繰越分配対象額（円）	2,313	2,229	2,147	2,070	1,986	1,903

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 経費控除後の配当等収益	62.13円	55.08円	57.69円	61.92円	55.22円	56.30円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,391.47	2,314.35	2,229.82	2,148.59	2,071.48	1,987.00
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,453.60	2,369.43	2,287.51	2,210.52	2,126.70	2,043.31
(f) 分配金	140.00	140.00	140.00	140.00	140.00	140.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,313.60	2,229.43	2,147.51	2,070.52	1,986.70	1,903.31

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第72期～第77期 (2017.9.8～2018.3.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	51円	0.655%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,852円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	52	0.659	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

決算期	第 72 期 ~ 第 77 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 3,961.622	千円 542,410	千口 18,229.999	千円 2,500,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

買 付 銘柄	第 72 期 ~			第 77 期		
	買 付			売 付		
	□ 数	金 額	平均単価	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円	千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	18,229.999	2,500,000	137			

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間(第72期~第77期)中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 77 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	千口 73,021.711	千円 9,489,755	% 98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第71期末	第 77 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 12	千口 12	千円 13

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年3月7日現在

項 目	第 77 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 9,489,755	% 96.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	13	0.0
コール・ローン等、その他	378,592	3.8
投資信託財産総額	9,868,361	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年10月10日)、(2017年11月7日)、(2017年12月7日)、(2018年1月9日)、(2018年2月7日)、(2018年3月7日)現在

項目	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末
(A) 資産	11,933,574,528円	11,527,896,618円	10,930,947,347円	11,251,807,038円	10,193,685,823円	9,868,361,170円
コール・ローン等	427,493,799	444,631,278	336,938,422	422,897,527	384,127,391	378,592,527
投資信託受益証券 (評価額)	11,506,067,704	11,083,252,315	10,593,995,901	10,828,896,487	9,809,545,409	9,489,755,620
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	13,025	13,025	13,024	13,024	13,023	13,023
(B) 負債	347,834,062	266,192,490	240,429,758	267,311,006	249,995,523	254,355,820
未払収益分配金	199,910,543	198,326,120	195,208,361	191,875,927	189,698,065	188,493,702
未払解約金	133,670,399	56,026,863	32,884,158	62,006,919	48,665,441	55,466,901
未払信託報酬	14,166,408	11,681,295	12,104,930	13,115,565	11,250,557	9,952,831
その他未払費用	86,712	158,212	232,309	312,595	381,460	442,386
(C) 純資産総額 (A-B)	11,585,740,466	11,261,704,128	10,690,517,589	10,984,496,032	9,943,690,300	9,614,005,350
元本	14,279,324,570	14,166,151,490	13,943,454,393	13,705,423,412	13,549,861,847	13,463,835,902
次期繰越損益金	△ 2,693,584,104	△ 2,904,447,362	△ 3,252,936,804	△ 2,720,927,380	△ 3,606,171,547	△ 3,849,830,552
(D) 受益権総口数	14,279,324,570口	14,166,151,490口	13,943,454,393口	13,705,423,412口	13,549,861,847口	13,463,835,902口
1万口当り基準価額 (C/D)	8,114円	7,950円	7,667円	8,015円	7,339円	7,141円

*第71期末における元本額は15,079,927,644円、当作成期間 (第72期~第77期) 中における追加設定元本額は1,399,027,490円、同解約元本額は3,015,119,232円です。

*第77期末の計算口数当りの純資産額は7,141円です。

*第77期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,849,830,552円です。

■損益の状況

第72期 自2017年9月8日 至2017年10月10日 第74期 自2017年11月8日 至2017年12月7日 第76期 自2018年1月10日 至2018年2月7日
 第73期 自2017年10月11日 至2017年11月7日 第75期 自2017年12月8日 至2018年1月9日 第77期 自2018年2月8日 至2018年3月7日

項目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(A) 配当等収益	90,385,194円	89,780,813円	92,625,914円	86,573,356円	86,143,446円	85,817,892円
受取配当金	90,396,381	89,787,605	92,632,801	86,580,948	86,150,815	85,824,428
受取利息	29	14	24	14	18	3
支払利息	△ 11,216	△ 6,806	△ 6,911	△ 7,606	△ 7,387	△ 6,539
(B) 有価証券売買損益	685,347,825	△ 111,072,063	△ 279,281,359	586,093,765	△ 798,828,670	△ 152,893,389
売買益	709,088,073	1,725,990	2,262,008	596,076,524	6,034,645	2,944,668
売買損	△ 23,740,248	△ 112,798,053	△ 281,543,367	△ 9,982,759	△ 804,863,315	△ 155,838,057
(C) 信託報酬等	△ 14,253,120	△ 11,752,795	△ 12,179,027	△ 13,195,851	△ 11,319,422	△ 10,013,757
(D) 当期損益金 (A+B+C)	761,479,899	△ 33,044,045	△ 198,834,472	659,471,270	△ 724,004,646	△ 77,089,254
(E) 前期繰越損益金	△ 1,758,780,549	△ 1,052,818,856	△ 1,134,482,527	△ 1,357,391,368	△ 756,484,000	△ 1,527,656,790
(F) 追加信託差損益金	△ 1,496,372,911	△ 1,620,258,341	△ 1,724,411,444	△ 1,831,131,355	△ 1,935,984,836	△ 2,056,590,806
(配当等相当額)	(3,414,862,191)	(3,278,550,569)	(3,109,144,511)	(2,944,738,829)	(2,806,838,496)	(2,675,277,046)
(売買損益相当額)	(△ 4,911,235,102)	(△ 4,898,808,910)	(△ 4,833,555,955)	(△ 4,775,870,184)	(△ 4,742,823,332)	(△ 4,731,867,852)
(G) 合計 (D+E+F)	△ 2,493,673,561	△ 2,706,121,242	△ 3,057,728,443	△ 2,529,051,453	△ 3,416,473,482	△ 3,661,336,850
(H) 収益分配金	△ 199,910,543	△ 198,326,120	△ 195,208,361	△ 191,875,927	△ 189,698,065	△ 188,493,702
次期繰越損益金 (G+H)	△ 2,693,584,104	△ 2,904,447,362	△ 3,252,936,804	△ 2,720,927,380	△ 3,606,171,547	△ 3,849,830,552
追加信託差損益金	△ 1,607,558,748	△ 1,740,556,443	△ 1,839,172,918	△ 1,938,132,232	△ 2,050,858,877	△ 2,169,280,373
(配当等相当額)	(3,303,676,354)	(3,158,252,467)	(2,994,383,037)	(2,837,737,952)	(2,691,964,455)	(2,562,587,479)
(売買損益相当額)	(△ 4,911,235,102)	(△ 4,898,808,910)	(△ 4,833,555,955)	(△ 4,775,870,184)	(△ 4,742,823,332)	(△ 4,731,867,852)
繰越損益金	△ 1,086,025,356	△ 1,163,890,919	△ 1,413,763,886	△ 782,795,148	△ 1,555,312,670	△ 1,680,550,179

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は44ページの「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 経費控除後の配当等収益	88,724,706円	78,028,018円	80,446,887円	84,875,050円	74,824,024円	75,804,135円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	3,414,862,191	3,278,550,569	3,109,144,511	2,944,738,829	2,806,838,496	2,675,277,046
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,503,586,897	3,356,578,587	3,189,591,398	3,029,613,879	2,881,662,520	2,751,081,181
(f) 分配金	199,910,543	198,326,120	195,208,361	191,875,927	189,698,065	188,493,702
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,303,676,354	3,158,252,467	2,994,383,037	2,837,737,952	2,691,964,455	2,562,587,479
(h) 受益権総口数	14,279,324,570口	14,166,151,490口	13,943,454,393口	13,705,423,412口	13,549,861,847口	13,463,835,902口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	(単 価)	140円	140円	140円	140円	140円
	(8,114円)	(7,950円)	(7,667円)	(8,015円)	(7,339円)	(7,141円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
28期末(2015年10月7日)	6,336	100	6.2	11,968	3.1	0.0	98.7	501
29期末(2015年11月9日)	6,677	100	7.0	12,689	6.0	0.0	98.9	531
30期末(2015年12月7日)	6,550	100	△ 0.4	12,643	△ 0.4	0.0	98.8	491
31期末(2016年1月7日)	5,665	100	△ 12.0	12,030	△ 4.8	0.0	98.9	438
32期末(2016年2月8日)	5,242	100	△ 5.7	11,364	△ 5.5	0.0	98.8	399
33期末(2016年3月7日)	5,475	100	6.4	12,089	6.4	0.0	99.0	407
34期末(2016年4月7日)	5,424	100	0.9	12,492	3.3	—	99.0	397
35期末(2016年5月9日)	5,078	100	△ 4.5	12,434	△ 0.5	0.0	98.3	358
36期末(2016年6月7日)	5,184	100	4.1	12,750	2.5	0.0	98.9	365
37期末(2016年7月7日)	4,739	100	△ 6.7	12,692	△ 0.5	0.0	99.3	320
38期末(2016年8月8日)	5,007	100	7.8	13,194	4.0	0.0	98.8	332
39期末(2016年9月7日)	4,957	100	1.0	13,216	0.2	0.0	98.9	290
40期末(2016年10月7日)	4,848	100	△ 0.2	13,061	△ 1.2	0.0	98.8	283
41期末(2016年11月7日)	4,487	100	△ 5.4	12,604	△ 3.5	0.0	98.6	243
42期末(2016年12月7日)	4,985	100	13.3	13,372	6.1	0.0	98.5	257
43期末(2017年1月10日)	5,216	100	6.6	13,714	2.6	0.0	97.9	296
44期末(2017年2月7日)	5,031	100	△ 1.6	13,857	1.0	0.0	98.2	282
45期末(2017年3月7日)	5,222	100	5.8	14,357	3.6	0.0	98.2	312
46期末(2017年4月7日)	4,945	100	△ 3.4	14,250	△ 0.8	0.0	97.0	288
47期末(2017年5月8日)	5,024	100	3.6	14,502	1.8	0.0	98.6	279
48期末(2017年6月7日)	4,847	100	△ 1.5	14,684	1.3	0.0	98.3	274
49期末(2017年7月7日)	4,899	100	3.1	14,566	△ 0.8	0.0	96.1	306
50期末(2017年8月7日)	4,857	100	1.2	14,971	2.8	0.0	98.5	325
51期末(2017年9月7日)	4,780	100	0.5	14,903	△ 0.5	—	98.7	331
52期末(2017年10月10日)	4,907	100	4.7	15,381	3.2	—	98.4	345
53期末(2017年11月7日)	4,708	100	△ 2.0	15,662	1.8	—	98.8	330
54期末(2017年12月7日)	4,563	100	△ 1.0	15,892	1.5	0.0	98.6	322
55期末(2018年1月9日)	4,847	100	8.4	16,608	4.5	—	97.5	393
56期末(2018年2月7日)	4,487	70	△ 6.0	16,291	△ 1.9	—	97.7	379
57期末(2018年3月7日)	4,377	70	△ 0.9	16,490	1.2	—	98.9	347

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

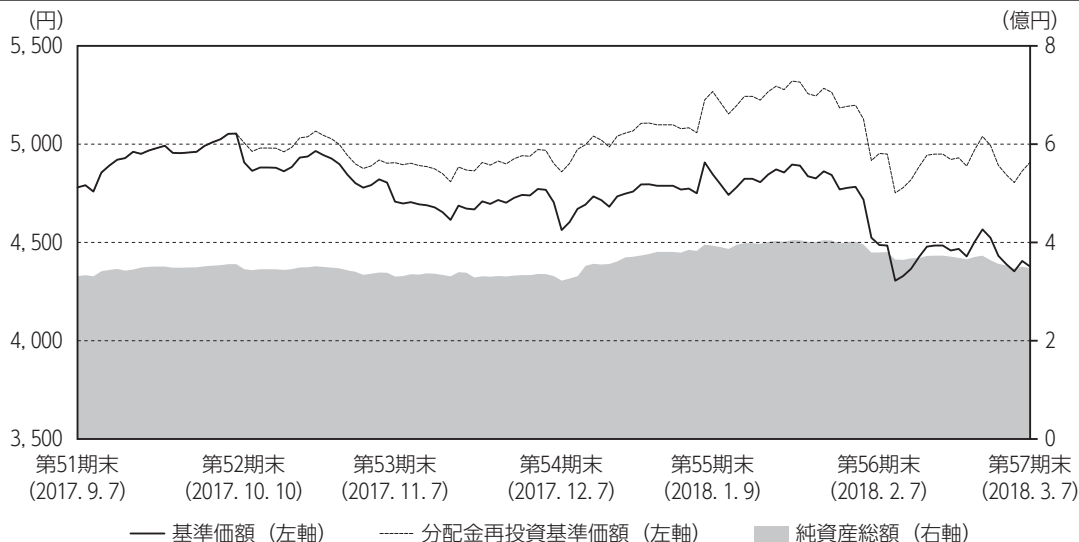
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第52期首：4,780円

第57期末：4,377円（既払分配金540円）

騰落率：2.7%（分配金再投資ベース）

基準価額の変動要因

主にオージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」といいます。）に投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用した結果、株価が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が寄与し、上昇しました。一方、選定通貨が対円でおおむね下落したことやオプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第52期	(期首) 2017年 9月 7日	円 4,780	% —	14,903	% —	% —	% 98.7
	9月末	4,961	3.8	15,172	1.8	—	98.5
	(期末) 2017年10月10日	5,007	4.7	15,381	3.2	—	98.4
第53期	(期首) 2017年10月10日	4,907	—	15,381	—	—	98.4
	10月末	4,779	△ 2.6	15,551	1.1	—	99.3
	(期末) 2017年11月 7日	4,808	△ 2.0	15,662	1.8	—	98.8
第54期	(期首) 2017年11月 7日	4,708	—	15,662	—	—	98.8
	11月末	4,742	0.7	15,873	1.3	—	99.0
	(期末) 2017年12月 7日	4,663	△ 1.0	15,892	1.5	0.0	98.6
第55期	(期首) 2017年12月 7日	4,563	—	15,892	—	0.0	98.6
	12月末	4,774	4.6	16,245	2.2	—	96.0
	(期末) 2018年 1月 9日	4,947	8.4	16,608	4.5	—	97.5
第56期	(期首) 2018年 1月 9日	4,847	—	16,608	—	—	97.5
	1月末	4,770	△ 1.6	17,060	2.7	—	98.4
	(期末) 2018年 2月 7日	4,557	△ 6.0	16,291	△ 1.9	—	97.7
第57期	(期首) 2018年 2月 7日	4,487	—	16,291	—	—	97.7
	2月末	4,524	0.8	16,588	1.8	0.0	98.9
	(期末) 2018年 3月 7日	4,447	△ 0.9	16,490	1.2	—	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 9. 8 ~ 2018. 3. 7)

■米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。第52期首から2018年1月にかけて、原油価格の上昇、税制改革への期待の高まりや好調な企業決算を背景に、上昇相場が続く展開となりました。しかし2月に入ってからは、米国金利の急激な上昇を受けて株式市場への資金流入に悪影響が及ぶとの懸念から、株価は急落しました。その後、株価は反発に転じ、戻り歩調となりましたが、長期金利の動向が意識され、やや不安定な推移となりました。

■為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね下落しました。第52期首から2017年9月末にかけては、北朝鮮に関する地政学リスクが後退したことで、市場のリスク選好度が強まり、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。その後は、個別国の材料に左右されつつ、選定通貨は対円でまちまちな動きとなりました。2018年に入ると、日本の金融正常化観測の高まりや株式市場の下落を受けたリスク回避姿勢の強まりが円高要因となり、選定通貨は対円でおおむね下落しました。当作成期間においては、ロシア・ルーブル、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、ブラジル・リアル、メキシコ・ペソ、トルコ・リラは対円で下落しました。一方、中国・人民元は対円でおおむね横ばいとなりました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。当期間においては、ブラジル・リアル、インドネシア・ルピア、インド・ルピー、メキシコ・ペソ、トルコ・リラ、ロシア・ルーブル、中国・人民元を選定通貨に組み入れました。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを1.00~1.25%から1.25~1.50%に引き上げました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準 (G I C S) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については、原則としてFTSE 世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017.9.8 ~ 2018.3.7)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICSの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行ないました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

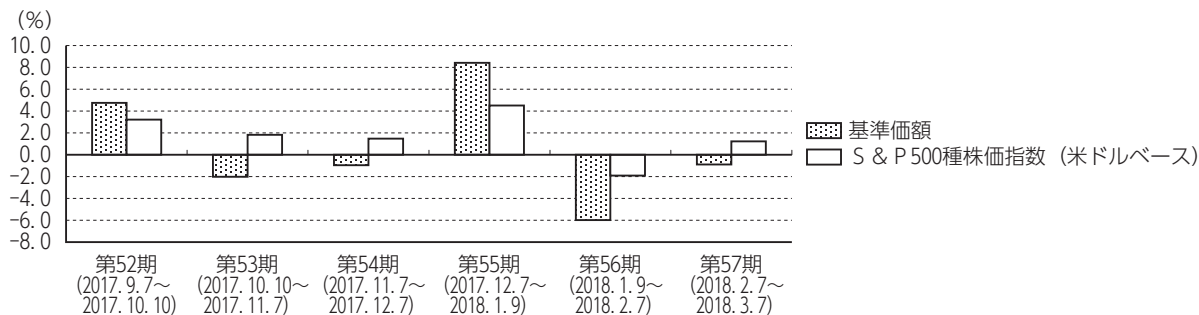
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先およびコール・ローンによる運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第52期～第55期はそれぞれ100円、第56期～第57期はそれぞれ70円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
	2017年9月8日 ～2017年10月10日	2017年10月11日 ～2017年11月7日	2017年11月8日 ～2017年12月7日	2017年12月8日 ～2018年1月9日	2018年1月10日 ～2018年2月7日	2018年2月8日 ～2018年3月7日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	100	70	70
対基準価額比率（％）	2.00	2.08	2.14	2.02	1.54	1.57
当期の収益（円）	57	62	58	53	56	53
当期の収益以外（円）	42	37	41	46	13	16
翌期繰越分配対象額（円）	678	641	600	558	546	530

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
(a) 経費控除後の配当等収益	57.15円	62.54円	58.51円	53.79円	56.53円	53.50円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	721.19	679.27	642.07	604.78	560.07	546.62
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	778.34	741.81	700.58	658.57	616.61	600.12
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	678.34	641.81	600.58	558.57	546.61	530.12

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、FTSE 世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第52期～第57期 (2017.9.8～2018.3.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0.655%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,747円です。
(投 信 会 社)	(10)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	31	0.659	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2017年9月8日から2018年3月7日まで）

決算期	第 52 期 ～ 第 57 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 1,838.38	千円 91,214	千口 1,163.997	千円 56,000

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2017年9月8日から2018年3月7日まで）

第 52 期 ～				第 57 期			
銘 柄	買 付			銘 柄	売 付		
	□ 数	金 額	平均単価		□ 数	金 額	平均単価
CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,266.076	千円 63,000	円 49	CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,163.997	千円 56,000	円 48

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第52期～第57期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 57 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	千口 7,357.711	千円 343,686	% 98.9

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第51期末	第 57 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 98	千口 98	千円 100

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年3月7日現在

項 目	第 57 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 343,686	% 96.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	14,219	4.0
投資信託財産総額	358,005	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年10月10日)、(2017年11月7日)、(2017年12月7日)、(2018年1月9日)、(2018年2月7日)、(2018年3月7日)現在

項目	第52期末	第53期末	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末
(A) 資産	356,229,226円	339,466,440円	329,784,899円	402,306,899円	386,198,544円	358,005,441円
コール・ローン等	15,843,414	12,738,467	11,968,770	18,559,201	15,247,824	14,219,358
投資信託受益証券 (評価額)	340,285,783	326,627,944	317,716,110	383,647,679	370,850,711	343,686,074
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	100,029	100,029	100,019	100,019	100,009	100,009
(B) 負債	10,582,838	8,785,685	7,480,808	8,908,039	6,616,498	10,361,665
未払収益分配金	7,044,534	7,023,588	7,063,648	8,115,748	5,922,202	5,559,826
未払解約金	3,121,049	1,408,249	47,532	341,779	263,224	4,416,287
未払信託報酬	414,736	349,203	362,776	440,975	418,983	371,203
その他未払費用	2,519	4,645	6,852	9,537	12,089	14,349
(C) 純資産総額 (A - B)	345,646,388	330,680,755	322,304,091	393,398,860	379,582,046	347,643,776
元本	704,453,443	702,358,811	706,364,838	811,574,817	846,028,910	794,260,999
次期繰越損益金	△ 358,807,055	△ 371,678,056	△ 384,060,747	△ 418,175,957	△ 466,446,864	△ 446,617,223
(D) 受益権総口数	704,453,443口	702,358,811口	706,364,838口	811,574,817口	846,028,910口	794,260,999口
1万円当り基準価額 (C/D)	4,907円	4,708円	4,563円	4,847円	4,487円	4,377円

*第51期末における元本額は693,413,613円、当作成期間 (第52期～第57期) 中における追加設定元本額は245,496,020円、同解約元本額は144,648,634円です。

*第57期末の計算口数当りの純資産額は4,377円です。

*第57期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は446,617,223円です。

■損益の状況

第52期 自 2017年9月8日 至 2017年10月10日

第54期 自 2017年11月8日 至 2017年12月7日

第56期 自 2018年1月10日 至 2018年2月7日

第53期 自 2017年10月11日 至 2017年11月7日

第55期 自 2017年12月8日 至 2018年1月9日

第57期 自 2018年2月8日 至 2018年3月7日

項目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
(A) 配当等収益	4,134,351円	4,743,998円	4,498,004円	4,432,234円	5,204,734円	4,622,965円
受取配当金	4,134,687	4,744,286	4,498,278	4,432,787	5,205,009	4,623,229
受取利息	1	—	1	—	—	1
支払利息	△ 337	△ 288	△ 275	△ 553	△ 275	△ 265
(B) 有価証券売買損益	11,820,230	△ 11,218,608	△ 7,245,347	25,244,836	△ 28,970,729	△ 7,378,982
売買益	12,111,442	245,663	223,253	25,429,903	32,129	548,593
売買損	△ 291,212	△ 11,464,271	△ 7,468,600	△ 185,067	△ 29,002,858	△ 7,927,575
(C) 信託報酬等	△ 417,255	△ 351,329	△ 364,983	△ 443,660	△ 421,535	△ 373,463
(D) 当期損益金 (A + B + C)	15,537,326	△ 6,825,939	△ 3,112,326	29,233,410	△ 24,187,530	△ 3,129,480
(E) 前期繰越損益金	△ 138,123,823	△ 123,836,290	△ 129,126,645	△ 133,943,003	△ 108,402,989	△ 128,264,817
(F) 追加信託差損益金	△ 229,176,024	△ 233,992,239	△ 244,758,128	△ 305,350,616	△ 327,934,143	△ 309,663,100
(配当等相当額)	(50,804,515)	(47,709,170)	(45,354,113)	(49,082,501)	(47,383,978)	(43,416,206)
(売買損益相当額)	(△ 279,980,539)	(△ 281,701,409)	(△ 290,112,241)	(△ 354,433,117)	(△ 375,318,121)	(△ 353,079,306)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 351,762,521	△ 364,654,468	△ 376,997,099	△ 410,060,209	△ 460,524,662	△ 441,057,397
(H) 収益分配金	△ 7,044,534	△ 7,023,588	△ 7,063,648	△ 8,115,748	△ 5,922,202	△ 5,559,826
次期繰越損益金 (G + H)	△ 358,807,055	△ 371,678,056	△ 384,060,747	△ 418,175,957	△ 466,446,864	△ 446,617,223
追加信託差損益金	△ 232,194,321	△ 236,623,158	△ 247,688,756	△ 309,100,370	△ 329,073,148	△ 310,973,425
(配当等相当額)	(47,786,218)	(45,078,251)	(42,423,485)	(45,332,747)	(46,244,973)	(42,105,881)
(売買損益相当額)	(△ 279,980,539)	(△ 281,701,409)	(△ 290,112,241)	(△ 354,433,117)	(△ 375,318,121)	(△ 353,079,306)
繰越損益金	△ 126,612,734	△ 135,054,898	△ 136,371,991	△ 109,075,587	△ 137,373,716	△ 135,643,798

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は56ページの「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,026,237円	4,392,669円	4,133,020円	4,365,994円	4,783,197円	4,249,501円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	50,804,515	47,709,170	45,354,113	49,082,501	47,383,978	43,416,206
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	54,830,752	52,101,839	49,487,133	53,448,495	52,167,175	47,665,707
(f) 分配金	7,044,534	7,023,588	7,063,648	8,115,748	5,922,202	5,559,826
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	47,786,218	45,078,251	42,423,485	45,332,747	46,244,973	42,105,881
(h) 受益権総口数	704,453,443口	702,358,811口	706,364,838口	811,574,817口	846,028,910口	794,260,999口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
	(単 価)	100円	100円	100円	100円	70円
	(4,907円)	(4,708円)	(4,563円)	(4,847円)	(4,487円)	(4,377円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド
日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／
米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－）はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2018年3月7日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表
2017年2月28日

資産

投資資産の評価額（簿価 ¥129,872,788,163）	¥	129,822,590,202
現金および現金同等物		103,964,823
スワップ契約による評価益		5,260,340
スワップ契約終了による未収金		3,260,343,610
資産合計		133,192,158,975

負債

スワップ契約による評価損		1,052,248,656
未払：		
専門家報酬		12,806,258
管理会社報酬		11,368,998
運用会社報酬		11,058,323
設立費用		6,496,199
名義書換代理人報酬		2,138,008
受託会社報酬		187,624
為替投資アドバイザー報酬		105,696
負債合計		1,096,409,762

純資産

	¥	132,095,749,213
豪ドル・クラス	¥	5,617,115,712
ブラジル・レアル・クラス		110,440,792,731
日本円・クラス		1,178,766,961
通貨セレクト・クラス		311,403,262
米ドル・クラス		14,547,670,547
	¥	132,095,749,213

発行済み受益証券口数

豪ドル・クラス	55,825,467
ブラジル・レアル・クラス	1,681,108,579
日本円・クラス	12,964,237
通貨セレクト・クラス	6,205,717
米ドル・クラス	105,398,107

1口当りの純資産

豪ドル・クラス	¥	100.62
ブラジル・リアル・クラス	¥	65.70
日本円・クラス	¥	90.93
通貨セレクト・クラス	¥	50.18
米ドル・クラス	¥	138.03

損益計算書

2017年2月28日に終了した年度

投資収益

その他収益	¥	873,757
投資収益合計		<u>873,757</u>

費用

運用会社報酬		149,351,340
管理会社報酬		71,298,143
名義書換代理人報酬		13,826,985
専門家報酬		10,536,442
受託会社報酬		1,292,017
為替投資アドバイザー報酬		479,573
その他費用		1,348,871
費用合計		<u>248,133,371</u>

投資純損失

(247,259,614)

実現益 / (損) と評価益 / (損) :

実現益 / (損) の内訳 :

有価証券への投資		26,789,744,869
スワップ契約		39,795,272,349
外国為替取引および外国為替先渡契約		(468,417,177)
純実現益		<u>66,116,600,041</u>

評価益 / (損) の純変動の内訳 :

証券投資		(1,956,950,459)
スワップ契約		249,997,356
外国為替換算および外国為替先渡契約		(216,092,152)
評価損の純変動		<u>(1,923,045,255)</u>

純実現・純評価益

64,193,554,786

運用による純資産の純増

¥ 63,946,295,172

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ-

(日本円建て)

投資明細表 2017年2月28日

ストラクチャード商品

投資資産の明細

投資資産の明細	受益証券 口数	純資産に 占める割合	評価額
CROCI Buy-Write Index* - トータル・リターン・スワップ	12, 207, 530	98. 28%	¥ 129, 822, 590, 202
ストラクチャード商品計 (簿価 ¥129, 872, 788, 163)			129, 822, 590, 202
投資資産計 (簿価 ¥129, 872, 788, 163)		98. 28%	¥ 129, 822, 590, 202

*当ファンドは Deutsche Bank A. G. , ロンドン支店との間で締結したファンドの残高と同金額の元本のパフォーマンス・スワップを通して CROCI Buy-Write Index と同様のエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
A U D	Deutsche Bank A. G.	65, 709, 976	2017年3月31日	U S D	(50, 450, 498)	¥ 1, 147, 502	0. 00%

ブラジル・リアル・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
B R L	Deutsche Bank A. G.	3, 066, 130, 472	2017年3月31日	U S D	(988, 207, 309)	¥ (1, 049, 712, 863)	(0. 79) %

日本円・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
J P Y	Deutsche Bank A. G.	1, 186, 009, 564	2017年3月31日	U S D	(10, 569, 213)	¥ 4, 112, 838	0. 00%

通貨セレクト・クラス為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
B R L	Deutsche Bank A. G.	1, 533, 679	2017年3月31日	U S D	(494, 333)	¥ (528, 612)	(0. 00) %
I D R	Deutsche Bank A. G.	6, 024, 868, 790	2017年3月31日	U S D	(452, 549)	(225, 140)	(0. 00) %
I N R	Deutsche Bank A. G.	30, 802, 022	2017年3月31日	U S D	(461, 082)	(76, 451)	(0. 00) %
R U B	Deutsche Bank A. G.	27, 175, 138	2017年3月31日	U S D	(466, 705)	(573, 340)	(0. 00) %
T R Y	Deutsche Bank A. G.	1, 811, 175	2017年3月31日	U S D	(500, 443)	(626, 525)	(0. 00) %
Z A R	Deutsche Bank A. G.	5, 638, 139	2017年3月31日	U S D	(432, 967)	(505, 725)	(0. 00) %
合計						¥ (2, 535, 793)	(0. 00) %

用語集:

A U D	豪ドル
B R L	ブラジル・リアル
I D R	インドネシア・ルピア
I N R	インド・ルピー
J P Y	日本円
R U B	ロシア・ルーブル
T R Y	トルコ・リラ
U S D	米ドル
Z A R	南アフリカ・ランド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2018年3月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を60ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
707 国庫短期証券 2017/12/11	千円 230,001		千円
723 国庫短期証券 2018/3/5	210,001		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2018年3月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（44,339,396千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2018年3月7日現在	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,998	<2.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第13期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A-2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

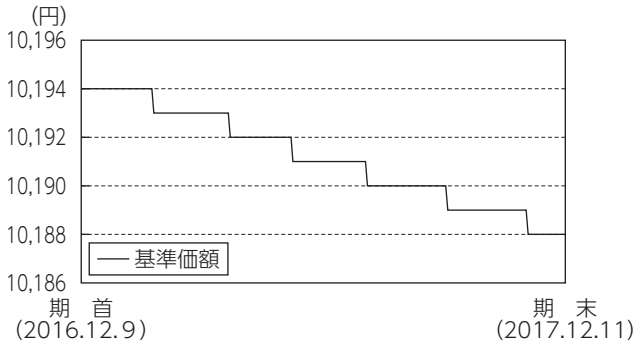
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率	
	円	騰 落 率 %	組 入 率 %	
(期首)2016年12月9日	10,194	-		30.1
12月末	10,194	0.0		-
2017年1月末	10,194	0.0		30.7
2月末	10,193	△0.0		24.6
3月末	10,193	△0.0		-
4月末	10,192	△0.0		32.5
5月末	10,191	△0.0		5.2
6月末	10,191	△0.0		0.5
7月末	10,190	△0.0		0.1
8月末	10,190	△0.0		-
9月末	10,189	△0.0		-
10月末	10,189	△0.0		-
11月末	10,188	△0.1		-
(期末)2017年12月11日	10,188	△0.1		-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,194円 期末：10,188円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額	
		千円	千円
国債証券	210,925,408	(231,500,000)	—

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額	
		千円	千円
国内短期社債等	246,999,814	246,999,819	(—)

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

買 付		売 付	
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
645	国庫短期証券 2017/2/20		27,570,641
657	国庫短期証券 2017/4/17		17,880,344
642	国庫短期証券 2017/2/6		17,230,250
652	国庫短期証券 2017/3/27		16,550,132
659	国庫短期証券 2017/4/24		16,270,410
669	国庫短期証券 2017/6/12		15,870,490
651	国庫短期証券 2017/3/21		13,160,344
644	国庫短期証券 2017/5/12		11,970,533
638	国庫短期証券 2017/1/16		9,360,075
648	国庫短期証券 2017/3/6		7,370,272

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■組入資産明細表

国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,999	<1.4>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	69,737,046	100.0
投資信託財産総額	69,737,046	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	69,737,046,159円
コール・ローン等	68,737,047,077
現先取引(その他有価証券)	999,999,082
(B) 負債	60,400,000
未払解約金	60,400,000
(C) 純資産総額(A - B)	69,676,646,159
元本	68,390,547,168
次期繰越損益金	1,286,098,991
(D) 受益権総口数	68,390,547,168口
1万口当り基準価額(C / D)	10,188円

* 期首における元本額は66,967,614,984円、当期中における追加設定元本額は143,241,011,614円、同解約元本額は141,818,079,430円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 98,069円、ダイワ / "R I C I" コモディティ・ファンド 8,952,508円、US 債券 NB 戦略ファンド (為替ヘッジあり / 年 1 回決算型) 1,676円、US 債券 NB 戦略ファンド (為替ヘッジなし / 年 1 回決算型) 1,330円、NB ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NB ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NB ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、D C ダイワ・マネー・ポートフォリオ 2,898,147,134円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト 317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ / フィデリティ北米株式ファンド - パラダイムシフター - 9,853,995円、プルベア・マネー・ポートフォリオ IV 25,987,316,146円、ブル3倍日本株ポートフォリオ IV 31,864,786,854円、ベア2倍日本株ポートフォリオ IV 7,199,848,570円、ダイワ F E グローバル・バリュー株ファンド (ダイワ S M A 専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)

型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ / アムンティ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 68,368,780円、ダイワ新興国ハイインカム・プラス II - 金積立型 - 501,660円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド (償還条項付き) 為替ヘッジあり 1,004,378円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 米ドルコース 285,029円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 日本円コース 144,570円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 通貨αコース 13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ 1,229,944円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド (ダイワ S M A 専用) 235,407円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース 98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,188円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 41,076,414円
受取利息	△ 5,752,611
支払利息	△ 35,323,803
(B) 有価証券売買損益	△ 9,224
売買損	△ 9,224
(C) その他費用	△ 196,417
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 41,282,055
(E) 前期繰越損益金	1,302,196,055
(F) 解約差損益金	△ 2,715,466,915
(G) 追加信託差損益金	2,740,651,906
(H) 合計(D + E + F + G)	1,286,098,991
次期繰越損益金(H)	1,286,098,991

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。